

感動を自然保護の きっかけに

オオサンショウウオ写真展



写真の解説をする福田さん

7月16日から9月1日まで、大山参道ギャラ
リーで世界的な動物写真家 福田幸広さんの写真
展「オオサンショウウオとゆかいな動物たち」が
開かれています。

これは、大山町でオオサンショウウオの保護
活動をしている「オオサンショウウオを守る山陰
ネットワーク」(代表 平澤朝子さん)が、NPO
法人大山王国と共催で開催しているものです。ギャ
ラリーには、福田さんが昨年の夏から大山山ろ
くで撮影してきたオオサンショウウオの写真のほ
か、国内外で撮影されたサル、シマリス、イルカ
など、ほかの動物たちの写真など合わせて40点が
展示され、自然保護の大切さを訴えかけています。
福田さんは「オオサンショウウオの写真を撮り
たいと思っていたところ、縁あって平澤さんに出
会いました。楽しみながら、かわいらしくユーモ
アに撮ってその魅力を皆さんに知ってもらいたい
です」と話していま

す。代表の平澤さん
は「いろいろなイベ
ントを通じて、大山
町や鳥取県にはすば
らしいものがあるこ
とをアピールしたい
です。『感動』が自
然保護のきっかけに
なればと思います」
と話しています。
(開館時間は9時30
分〜16時30分まで
水曜は定休です)

消防協力者に感謝状



感謝状を手にする谷さん

西部広域行政

管理組合消防局
は、今年4月町
内で一緒に農作
業をしていて突
然倒れ心肺停止
状態となった男
性に、心肺蘇生
法などを使って
命を救ったとし
て、所子の谷友
幸さん(49)に
感謝状を贈りま
した。

ます。発見後、直ちに119番をし、救急隊に
引き継ぐまでの7分間の谷さんの的確な対応が
命を救いました」とあいさつ。谷さんは「倒れ
た男性を目の前にして自分ができることは何で
もしないと、と思い一生懸命やりました。いつ
どこで役に立つかわからないので、自治会、職
場などの訓練に積極的に参加してほしいです」
と話しておられます。

感謝状を手渡
した桑名強大山
消防署長は「男
性は社会復帰を
果たしておられ

田の生き物調査

大山西小学校の3年生35人が
7月13日、近くの田んぼの水路
に住む生き物調査をしました。
これは、農林水産省と環境省
が水田の生態系を調べるため毎
年、全国各地の小学生と行って
いるものです。

県の農林局地域整備課の職
員から説明を受けた子どもたち
は、ひとりずつ手にたもを持ち、
さっそく水路に入って生き物を
探しにかかりました。教えられ

たとおりに足で川底をはらってたもです
くうと、ヤゴやゲンゴロウ、メダカなど
が見つかり、子どもたちは、生き物が見
つかるたび、大きな声をあげていました。
子どもたちがとった生き物は、写真に
撮り、データとして残すということです。



▶夢中で生き物を探す児童たち(国信の
水路で)